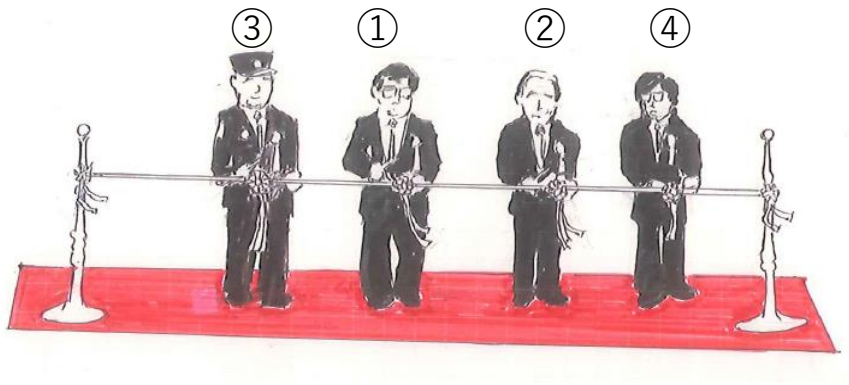
# テープカットの仕方



センターリボンが自分の正面に来るように立ちます。
続いて、左手でセンターリボンのすぐ後ろ、または左側に出ている紐を持ちます。
**ハサミはセンターリボンを挟んで右側の紐のところで構えるようにします。**

胸リボン
来賓は赤、主催は白　が基本ですが
地域によっては逆もございます。

ここで**写真撮影タイム**が取られるので、テープカットをする方はまんべんなく撮影者に目線が行くように心がけましょう。
この時、撮影者も軽く手を上げて「**目線お願いします！**」という一言をかけるようにしてください。
テープカットをする方の目線が定まって絵にまとまりが出ます。
撮影が一段落したら、司会の合図に合わせてテープにハサミを入れます。
正しい構えをしていれば、テープカット後、手元にセンターリボンが残るはずです。
**テープカット直後も撮影ポイント**のひとつなので、センターリボンを手にしたまま正面を向き、
笑顔で拍手に応えるようにしましょう。

　ポールのすぐ右側に立っている人はセンターリボンの端がポールにつながったままになるため、なんとなーくリボンから手を放してしまいがちです。そこでセンターリボンを手放すとセンターリボンが下に落ちた残念感漂う写真になってしまいます。
ここは拍手が一段落するまでリボンから手を放さないようにしましょう。